



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学大学院社会学研究科 ジェンダー社会科学研究センター

一橋大学国際交流セミナー

第24回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

2013年12月9日(月)15:00~17:40(14:40開場)

講師: シンシア・エンロー さん
(クラーク大学教授)

フェミニスト魂を捨てずに、 研究者としてのキャリアを追求できるか？

Can One Make an Academic Career and Keep One's Feminist Soul?

(使用言語:英語、通訳あり)



◆講師紹介◆

専門は比較政治学、女性学。1989年の *Bananas, Beaches and Bases* は、国際政治学・国際関係論のジェンダー分析の展開に大きなインパクトを与えた。*Does Khaki Become You?* から *Seriously!* にいたるまで、多数の著作は世界中のフェミニスト研究者・活動家に読み継がれており、日本でも『戦争の翌朝』、『策略』の翻訳や『フェミニズムで探る軍事化と国際政治』の講演録がある。

「女性たちはどこにいるの？」—シンシア・エンローさんは、フェミニスト的好奇心をもって問いをたてることの重要性を一貫して主張し、ご自身の研究を実践してこられました。フェミニスト研究者のたてる問いは、フェミニストの立場をとらない研究者が「自然」であるとか、変えるにはあまりに堅固であるとする信念や実践をめぐるものでもあります。「あなたの研究は政治的すぎて学問とは言えない」、「あなたの研究は現実を変えることにまったく役立たない」という論難のある中で、フェミニスト魂を捨てずに、研究者としてのキャリアを追求することはいかにして可能でしょうか？ この講演では、エンローさんが批判に向きあいながら、パイオニアとして歩まれてきたフェミニスト研究者としての人生を語っていただきます。

ふるってご参加ください。予約は不要です。

- 司会: 佐藤文香(本学社会学研究科准教授)
- 場所: 一橋大学西キャンパス本館 21
- 共催 ジェンダー史学会
- 連絡先: ジェンダー社会科学研究センター
cgrass@soc.hit-u.ac.jp